

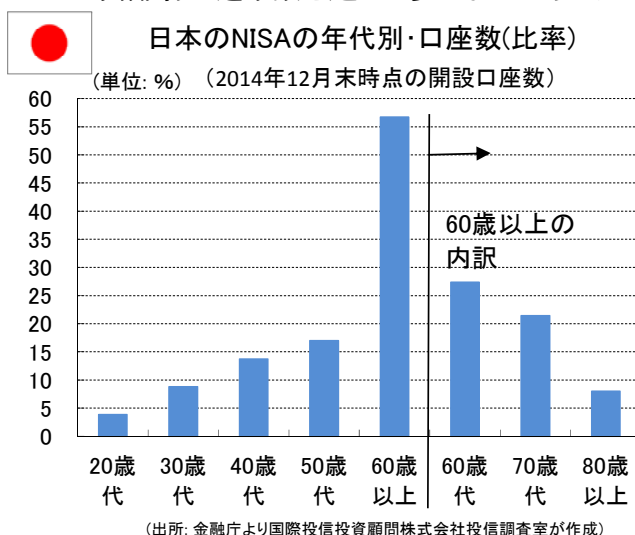
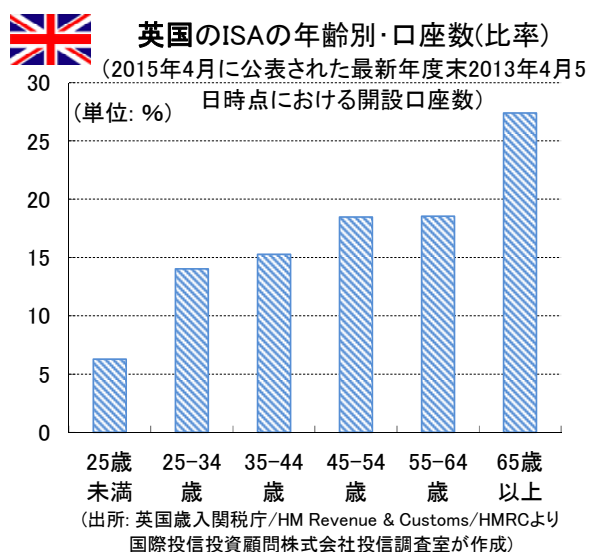
※国際投信投資顧問 投信調査室がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

開設口座数で見ると英国ISAも高齢者が多いがNISAは高齢者が過半数を超える多さ

2015年4月25日(土)に英国歳入関税庁が英国ISAの年次統計(詳細版)を公表した(英国歳入関税庁のURLは後述[参考ホームページ])。前日4月24(金)には、日本の金融庁が「NISA口座の開設・利用状況調査」(平成26年12月末時点)結果の概要を公表していた(2015年5月11日付日本版ISAの道 その100でも紹介、URLは後述[参考ホームページ])。そこで、今回は、日本のNISA(少額投資非課税制度)が範とする英国のISAが投資家に実際、どの様に利用されているか、日本のNISAと比較しながら見る事とする。

イギリスのISAは、16年の歴史があり(*日本は導入2年目)、預金型もあって(*日本は無く)、年間の非課税枠は年間15240英ポンド(約270万円)あり累積非課税拠出額の上限が無い(*日本は100万円で2016年分から120万円)。この様に、日英で歴史も制度もかなり異なるが、歴史については今後、日本が今の英国に近付いていき、預金型(公社債型)も日本で導入される可能性があり、非課税枠の規模も大きくなり、累積非課税投資額の上限が無くなる可能性は十分ある。その意味で、今回の調査結果による日英比較、日本と比較しながらの英国のISAを見ていく事は、NISAの今後の大いに参考になるとと思われる。

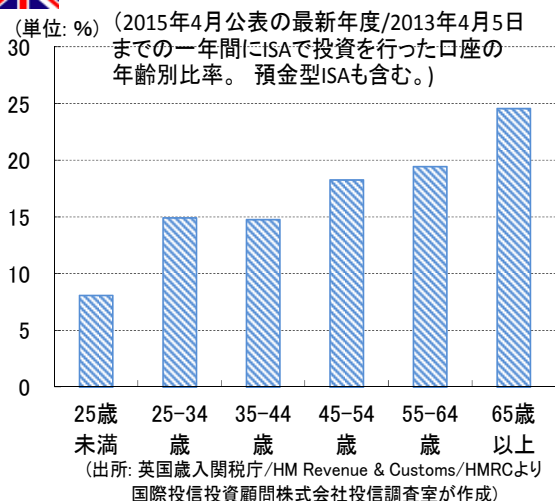
まず、開設口座数を年齢別に見ると、英国ISA(預金型を含む～グラフ左側)は、年齢が上がるにつれて口座数が増えており、25歳未満が最も少なく6.3%、65歳以上が最も多く27.4%となっている。日本のNISA(グラフ右側)も、年齢が上がるにつれ口座数が増えており、20歳代が最も少なく3.8%、60歳以上が過半数超えの56.7%となっている。開設口座数で見ると英国ISAも高齢者が多いがNISAは高齢者が過半数を超える多さなのである。



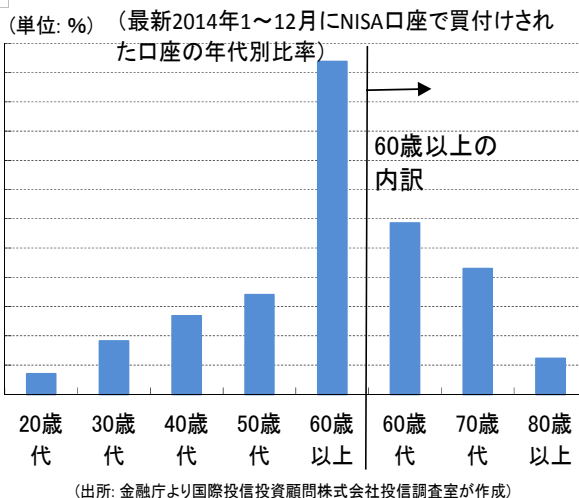
次いで、実際に投資を行った口座数で見ると、英国ISA(預金型を含む～次頁グラフ左側)は、25歳未満が最も少なく8.1%、65歳以上が最も多く24.5%となっている。日本のNISA(グラフ右側)は、20歳代が最も少なく3.5%、60歳以上が過半数超えの56.9%となっている。開設口座数と比較し、英国では若年層の割合が増え65歳以上の割合が減る。一方、日本では若年層の割合がさらに減り60歳以上の割合がさらに増える。



英国のISAの年齢別・投資状況



日本のNISAの年代別・投資状況



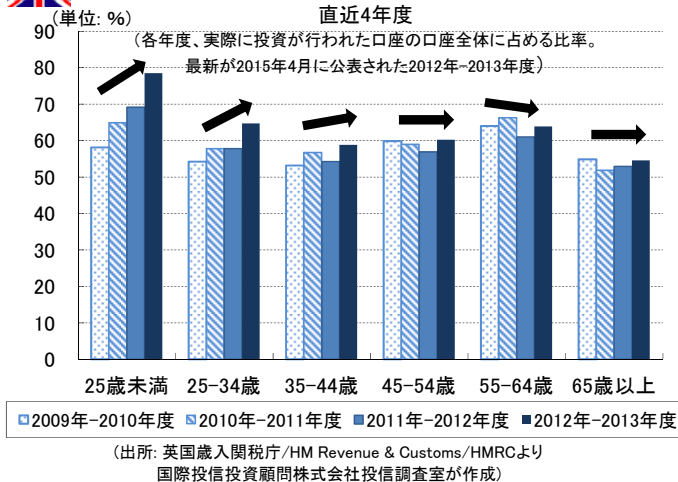
口座稼働率で見て英国 ISA は 25 歳未満が高いが NISA は高齢者(60 歳代)が高い

実際に投資を行った口座数が開設口座数と比較し、英国で若年層の割合が増え 65 歳以上の割合が減り、日本で若年層の割合がさらに減り 60 歳以上の割合がさらに増えるのは、口座稼働率の違いである(*口座稼働率…開設口座の内、実際その年に買付を行った口座の割合)。口座稼働率が英国では、下記グラフ左側の示す通り、25 歳未満が最も高い 78.0%で、3 年連続上昇しているのだ(←2011/2012 年度 69%←2010/2011 年度 65%←2009/2010 年度 58%)。英国では 45 歳以上では稼働率が横這いで、65 歳以上の口座稼働率は 55%とすべての年代層で最も低い。その一方、日本では下記グラフ右側の示す通り、20 歳代は 41.8%と英国 ISA の 25 歳未満の 78.0%をはるかに下回り、60 歳代が最も高い 48.7%となっているのだ。

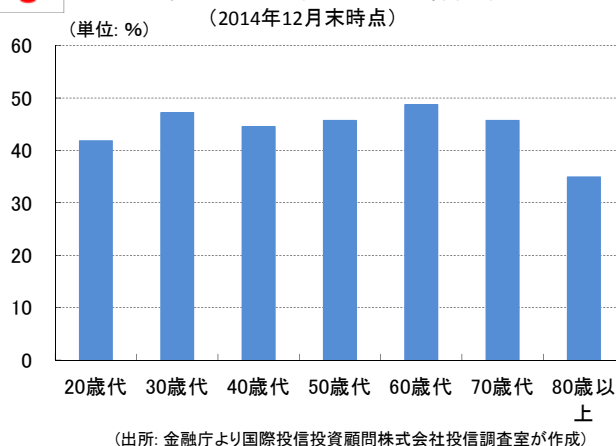
NISA 口座の 23.5%を占める投資未経験者(若年層に多い)にとって「膨大な情報のうち何を信じて買えばいいのか、なかなか決められない」と言われるが(2015 年 5 月 11 日付日本版 ISA の道 その 100~後述[参考ホームページ])、若年層や投資未経験者へのすそ野拡大が如何に重要であるかが示されている。



英国のISAの年齢別・口座稼働率

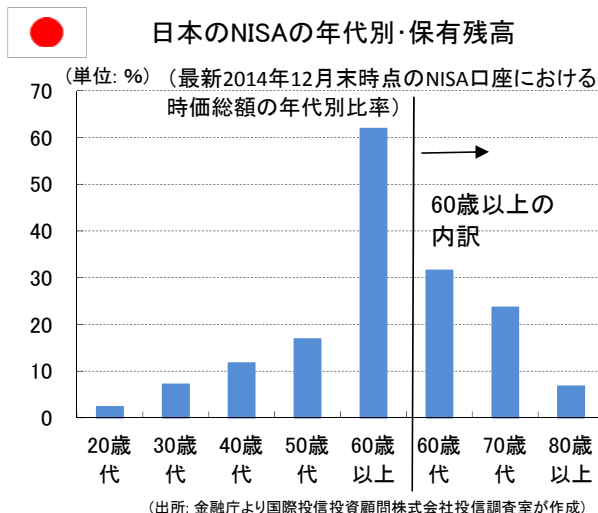
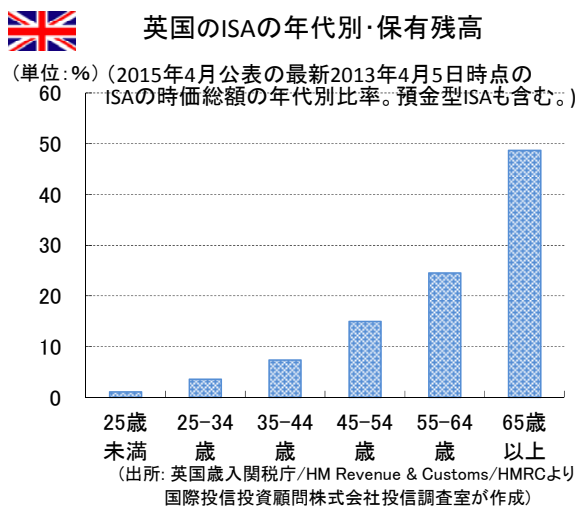


日本のNISAの年代別・口座稼働率



保有残高で見ると英国 ISA でも NISA でも若年層の割合が減り中高年の割合が増える

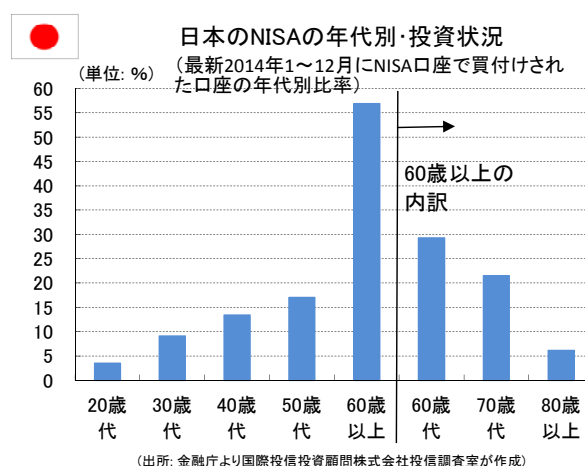
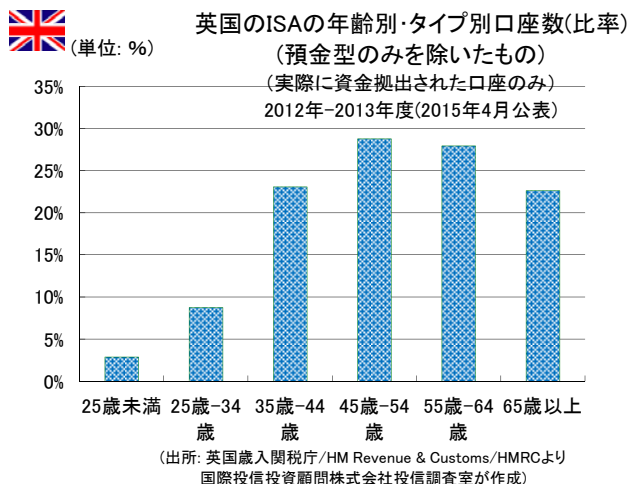
以上は口座数の話だったが、保有残高で見ると、英国では、25歳未満が最も少なく1.0%、65歳以上が最も多く48.7%となっている。日本では20歳代が最も少なく2.3%、60歳以上が過半数超えの61.9%となっている。共に若年層の割合が減り、中高年の割合が増えるが、英国は英国ISAの持つ歴史の長さ、積み上がりによる所が大きく、当然、年齢が上がるにつれより長く投資機会のあった中高年の残高は増える。日本はまだ1年の歴史である。それなのに中高年の残高が増えたのは、中高年の方が多くの投資額が昨年2014年の株高と円安で嵩(かさ)上げされた為と思われる(*下記グラフの残高は2014年12月31日時点における時価総額)。



若年層と中高年との広がる差については、日本の政府も黙っている訳ではなく、既に高齢者から若年層への資産移転を期待した「教育資金の非課税贈与」を2013年4月から、「結婚や子育て資金の非課税贈与」を2015年4月から解禁している。さらに、「現状のNISAの利用状況については、中高年の投資経験者による利用が大半を占めており、若年層や投資未経験者への投資家のすそ野拡大に資するよう、同制度を拡充する必要がある。」(2014年8月29日の平成27年度税制改正要望)と言う事でジュニアNISAを創設している。こうした政策が、日英の差を埋める一助になるのは間違いないと思われる(税制改正要望項及び関連法、参考となる日本版ISAの道のURLは後述[参考ホームページ])。

若年層ばかりへのすそ野拡大だけでなく40歳代や50歳代へのすそ野拡大も重要

ところで、先述した英国ISAは預金型ISAも含んでいた。ただ、日本のNISAでより参考となるのは株式型ISAと預金型ISA&株式型ISAなので、預金型ISAのみを除いたものを作成した。



英国 ISA は、25 歳未満でほとんど預金型 ISA のみの為、預金型 ISA を除くと 2.9%になる。これは先述した日本の NISA の実際に投資を行った口座数の 3.5%よりも低い。この事は、日本の NISA が歴史の浅い中、実は英国以上に若年層が投資について考えている事を示していると言えるのかもしれない。ただ、英国は 35 歳～44 歳や 45～54 歳に割合が大きく増える。日本は 40 歳代や 50 歳代はあまり割合が伸びていない。その意味で、日本では若年層ばかりへのすそ野拡大だけでなく 40 歳代や 50 歳代へのすそ野拡大も重要と思われる。

最後に次頁テーブルに以上をまとめたテーブルを掲載したので参照の事。

日本のNISAと英国のISAの統計について

2015年4月25日現在

項目	 日本のNISA(20歳以上が対象のNISA) (日本版ISA) (少額投資非課税制度)	 英国のISA(アダルト/レギュラーISA) /Individual Savings Accounts (個人貯蓄口座)
調査・統計名	NISA口座の開設・利用状況調査 (2015年4月24日公表)	Individual Savings Account (ISA) Statistics, April 2015 (2015年4月25日公表)
調査内容 (上記の公表日に最新値として 発表されたもの)	口座開設数及び年代別内訳 購入額及び年代・商品別内訳 残高及び年代・商品別内訳 払出し額及び年代・商品別内訳 配当金受取金額及び年代・商品別内訳 積立契約の状況 *基準日: 2014年12月末 (2014年1月～12月)	資金拠出者数及び所得・拠出額別内訳、年齢階級・ 男女別内訳 口座開設数及び所得・時価総額内訳、年齢階級・男 女別・時価総額別内訳、居住地・時価総額別内訳 *基準日: 2013年4月5日 (2012/2013年度、2012年4月6日～2013年4月5日)
年齢階級(10歳階級)	20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳 代、80歳以上 (*20歳以上が利用可)	25歳未満、25-34歳、35-44歳、45-54歳、55-64 歳、65歳以上 (*株式型ISAは18歳以上、預金型ISAは16歳以上の居住者等が 利用可)
利用状況(概要)	開設総口座数825万件/60歳以上が56.7%。 買付総金額は、2014年1～12月合計で2兆9769億円 /60歳以上が60.8%/商品別では投資信託65.3%、上 場株式32.6%、ETF1.2%、REIT0.9%。 口座稼働率45.5%、平均購入額79.2万円。	ISA(アダルト/レギュラーISA)の口座数は2267万口座と ISA対象者の約半数が利用。 拠出総金額572億英ポンド(約9兆8000億円)。残高は 4696億英ポンド(約80兆円)、うち株式型が2410億英ポ ンド(51.3%、約41兆円)、預金型が2285億英ポンド (48.7%、約39兆円)。ジュニアISAの残高は11億英ポ ンド(約1897億円)。 口座稼働率61%/25歳未満が78%、1口座当りの年間 平均拠出額は4250英ポンド(73万円)、株式型6163英 ポンド(106万円)、預金型3704英ポンド(63万円)。平均 保有額19,528英ポンド(約300万円)。 *残高/拠出額は2014年4月5日末/までの年間、それ以外は最 新2013年4月5日時点。
投資対象商品	上場株式・公募株式投信・ETF・REIT	株式型…株式・投信・債券等 預金型…預金・MMF等
非課税枠/年間	100万円(2016年分から120万円)	年間15240英ポンド(約270万円) *累積非課税拠出額上限無し。
口座開設数上限	一人一口座	株式型と預金型に各一人一口座
導入時期	2014年1月1日	1999年4月6日 *英国は4月6日から翌年4月5日までを課税年度とする。

(出所: 日本の金融庁、英国歳入税関庁などより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

以上
(投信調査室 松尾、窪田)

[参考ホームページ]

2015年4月25日付英国歳入関税庁/HM Revenue & Customs/HMRC 英国 ISA の年次統計…

「 <https://www.gov.uk/government/statistics/individual-savings-account-statistics> 」、2015年4月24日付金融庁「NISA口座の開設・利用状況調査」(平成26年12月末時点)の「NISA口座の利用状況について」…

「 <http://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20150424-1.html> 」、2015年5月11日付日本版ISAの道 その100「nisa おすすめ」、「nisa で買うなら」、「nisa で何を買う」～既存投資家は REIT・アセットアロケーション型・グローバル債、新規投資家は日本株・アセットアロケーション型・グローバル債を買っている様だ～」…「 <http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/150511.pdf> 」、2014年8月29日付金融庁平成27年度税制改正要望項…

「 <http://www.fsa.go.jp/news/26/sonota/20140829-9/01.pdf> 」、2015年3月31日に成立した「第一八九回閣第三号所得税法等の一部を改正する法律案」参院・提出法律案…

「 <http://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/gian/189/pdf/t031890031890.pdf> 」、2014年9月1日付日本版ISAの道 その69「金融庁の平成27年度税制改正要望で子ども版NISA/ジュニアNISA(日本版ジュニアISA)！～日英米の子どもの将来に備えた資産形成制度と人口動態比較付～」…「 <http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/140901.pdf> 」、2015年1月13日付日本版ISAの道 その86「税制改正大綱にジュニア

NISA 創設とNISA120万円への引き上げ!1月から年単位で金融機関の変更が可となり、NISA 拡充に期待が膨らむ中、NISA の2015年分で何に投資する? NISA の2014年分の投資(投信分)を総括!!」…「 <http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/150113.pdf> 」、2015年4月6日付日本版ISAの道 その96「2015年度税制関連法成立

で、2016年からジュニアNISA 創設と成人NISA120万円への引上げが決定!2015年3月の売れ筋は、REITファンド、日本株ファンド、グローバル債・株、アセットアロケーション型!!」…「 <http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/150406.pdf> 」。

本資料に関してご留意頂きたい事項

本資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、国際投信投資顧問が作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。なお、以下の点にもご留意ください。

- 本資料中のグラフ・数値等はあくまでも過去のデータであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向等を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の国際投信投資顧問 投信調査室の見解です。